

# 宝くじの助成金で自治会の備品を整備しました

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備等に対して助成し、地域コミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業を実施しています。

このたび、六田台自治会（五郷地区）では、「一般コミュニティ助成事業」を活用し、テントやプロジェクターなど地域活動に使用する備品の整備を行いました。



問合せ 生活課 (2階) ☎(20)1505、FAX (20)1600

## 市長が行く



### 拡大するコロナ感染について

茂原市長 田中豊彦



7月中旬に茂原市から

4人目の新型コロナウイルス感染者が出ました。その後、その方の所属する企業側からコメントがあり、速やかな対応を取っていたに感謝しております。

長生健康福祉センター（長生保健所）からも、その後のきちんとした対応についての報告を受け、とりあえず安堵しておりますが、油断はできません。

自粛規制が解除され、人々の動きが活発になってくれば、当然起こり得ることで、どこに感染リスクが潜んでいるのかは分からないのが現状です。

東京の感染拡大状況を見れば、当分の間は東京方面への移動はなるべく控えるようにと行うことしかできないことに自分でも苛立ち

を覚えます。

さて、このような感染者が出て驚いたのは、感染者を出した企業に対して嫌がらせ電話やメールが寄せられたことです。また、個人情報の保護から、長生健康福祉センターは、市の担当者にさえ徹底して個人の情報を漏らさないのですが、今回もさまざまなかたが、今回事業に飛び交い、その伝わる速さに恐ろしささえ覚えました。確かにその方がどのくらいの人に接触したのか、どこへ行くと危険性が高いのかを知りたいのは私もよく理解できますし、市としても早急な対応をするために必要なこともあるので、知りたいところではあります。

個人情報保護と、市民の安全を守ることは、これまでいとも揺れ動くのですが、これだけは守りたいのは、市民の皆さんにとって、危険だと分かっ

たことに関しては隠さずお伝えしていきたいということです。ですから、過剰に反応せず、マスクの着用や手洗いの励行、消毒などできることを粛々と行ってください。犯人探しや誹謗中傷などは決して行わないでください。今のような状況下では、誰にでも感染する可能性はあるのです。かかった人が悪いわけではなく、悪いのは新型コロナウイルスです。それがいつ自分に降り掛かってくるかは誰にも分かりません。

これからも感染者が出る可能性は高いですが、どうか落ち着いた行動を取っていただくよう切にお願いしたいと思っております。

そして、感染された方の一日も早いご回復を心よりお祈り致しております。